

「くろうし家族G」



～家族の健康は良質な飼料から。「一年未^{未満}一産」を目指します。～

【特徴その1】

親子共通で給与可能です。

→繁殖雌牛はもちろんのこと、嗜好性に優れていますので子牛にも固形飼料の**食べ始めから**育成期を通じて給与することができます。親子別々の配合飼料を用意する必要がないので、**給餌作業を効率的**に行うことができます。子牛にとっては同じ飼料を食べ続けることになるので、従来のスターター（餌付け）から育成用への切り替え時に生じ易い発育停滞の心配がなく、順調な発育が期待できます。

【特徴その2】

厳選した原材料を配合しました。

→ルーメン内発酵がバランスよくなるように考慮し、様々な粒度に粉碎したとうもろこしをペレット加工して配合しました。また**豊富な繊維源**と組み合わせることによりルーメン内環境が安定し、摂取した**栄養成分を無駄なく利用**することができます。

【特徴その3】

ビタミン、ミネラルを補います。

→日本飼養標準に示された母牛や子牛のステージ毎の要求量を基に、ビタミンやミネラルを配合しました。粗飼料の栄養成分が不安定な状況でも十分に補い、母牛の**正常な繁殖サイクル**と子牛の**健やかな発育**を応援します。

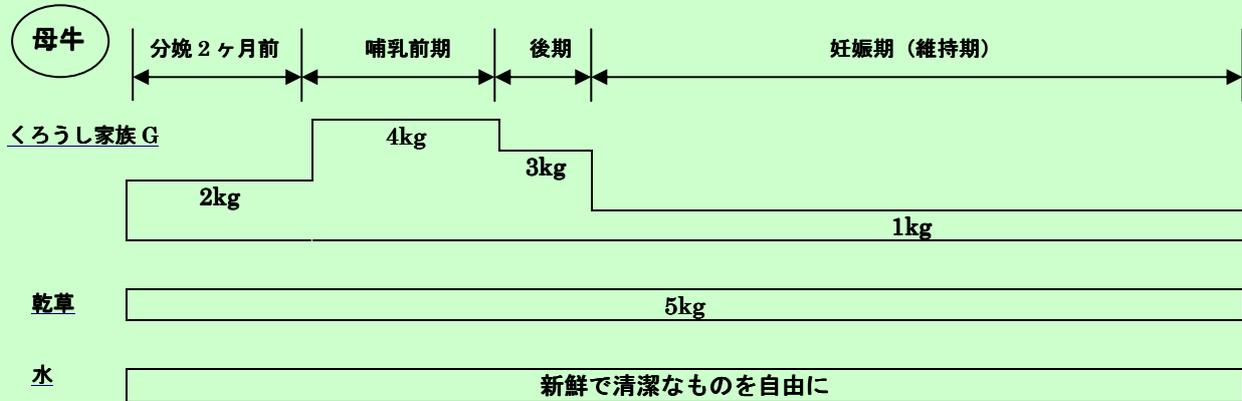
【特徴その4】

腸内細菌叢を整えます。

→納豆菌の仲間である、**枯草菌（バチルスサブチルス）**を配合しました。枯草菌の摂取により腸内細菌叢を善玉菌優勢に整え、丈夫な胃腸作りに貢献します。

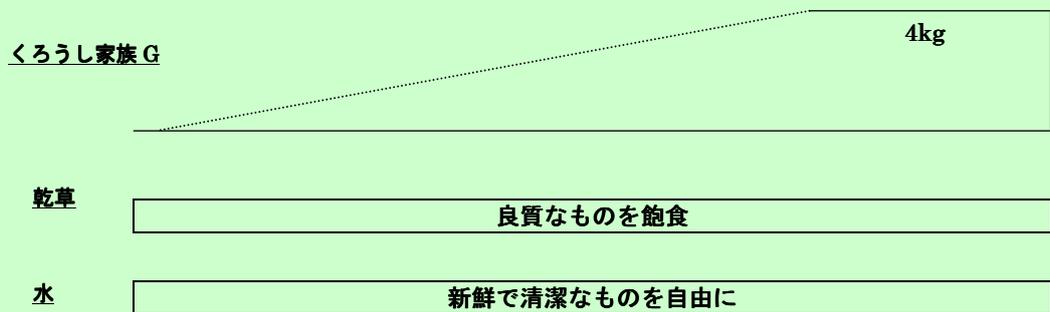
【くろうし家族 G の給与例】

月	-1	-2	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	分娩			種付		離乳						



- ①過肥は禁物です。妊娠中は特にボディコンディションに注意し、給与量を適宜増減して下さい。
- ②分娩 2ヶ月前からは、胎子の発育のために給与量を 1kg 増量して下さい。
- ③哺乳中は乳房や子牛の腹の張り具合を参考に、給与量を 2~3kg 増量して下さい。

子牛



- ①急激な食い込みの増加は下痢を招く恐れがありますので、給与量は徐々に増やして下さい。
- ②母子同居の場合、母牛の盗食を防ぐため専用の給餌場を設けて下さい。

【成分値】

粗蛋白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	カルシウム	リン	可消化養分総量
16.0%以上	2.0%以上	8.0%以下	10.0%以下	0.60%以上	0.40%以上	72.0%以上

飼料発売元

伊藤忠飼料株式会社